

ヤマト運輸のGHG削減に向けた取り組みについて

2025年8月27日

ヤマト運輸株式会社
グリーンイノベーション開発部



お客さまとともに、
物流のカーボンニュートラルに
挑み続けます。



次の運び方をつくる。

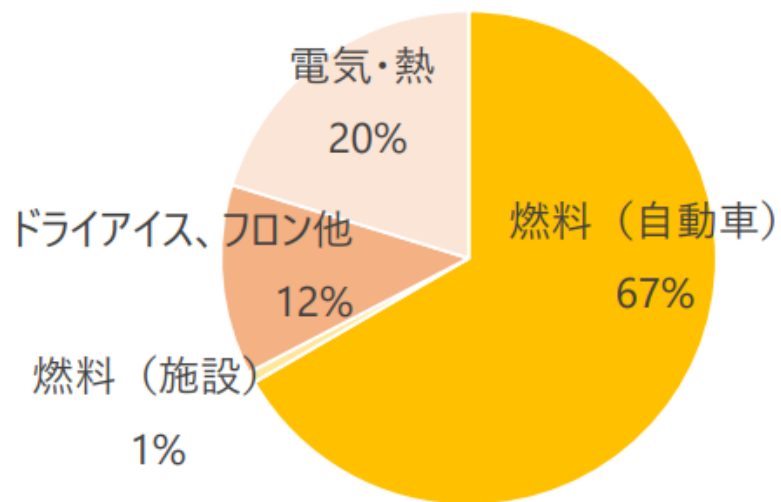
1. 起源別・Scope別CO2換算排出割合

(単位：tCO2e)

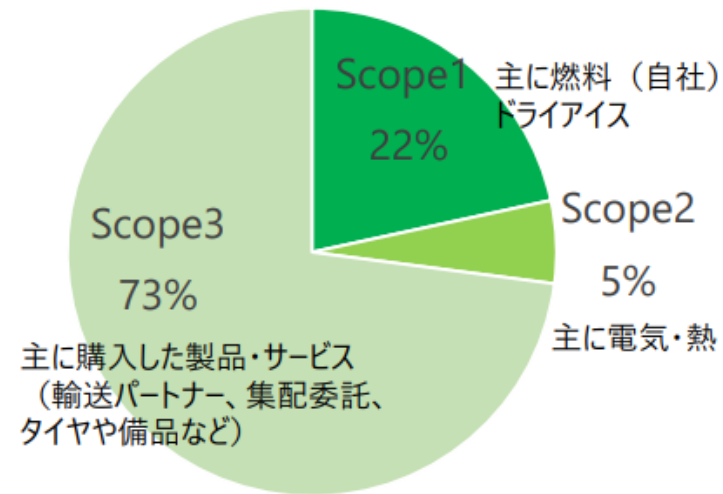
	2021年3月期	2024年3月期	2025年3月期
Scope1	668,554	656,732	649,522
Scope2	252,307	166,350	129,513
Scope1 & 2合計（自社排出）	920,861	823,082	779,034

<2024年3月期>

▶ 起源別CO2換算排出割合
(Scope1&Scope2)



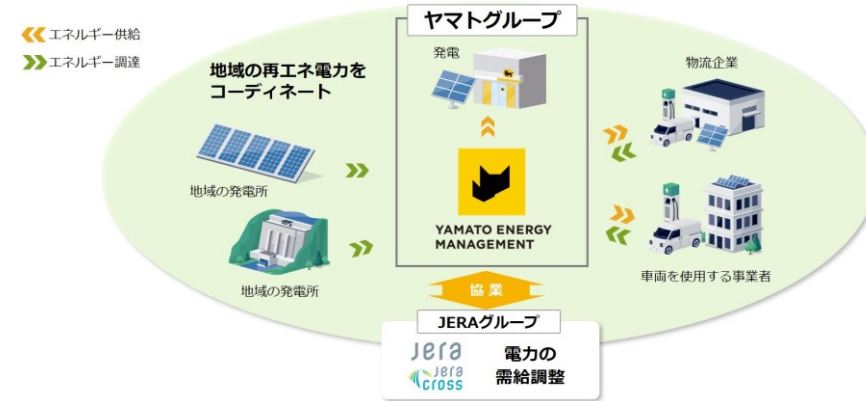
▶ Scope別CO2換算排出割合



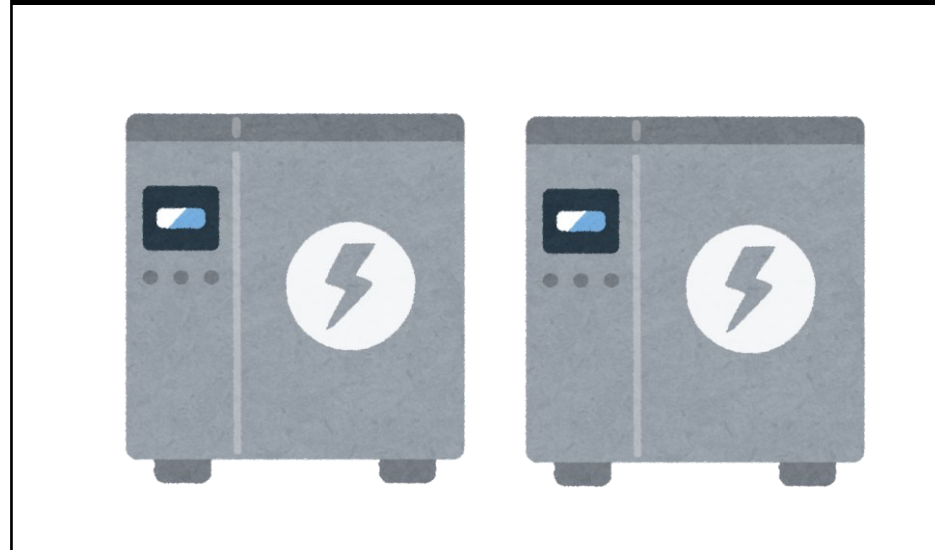
2. 2030年までのヤマトグループの環境投資計画



再エネ由来電気使用率：70%



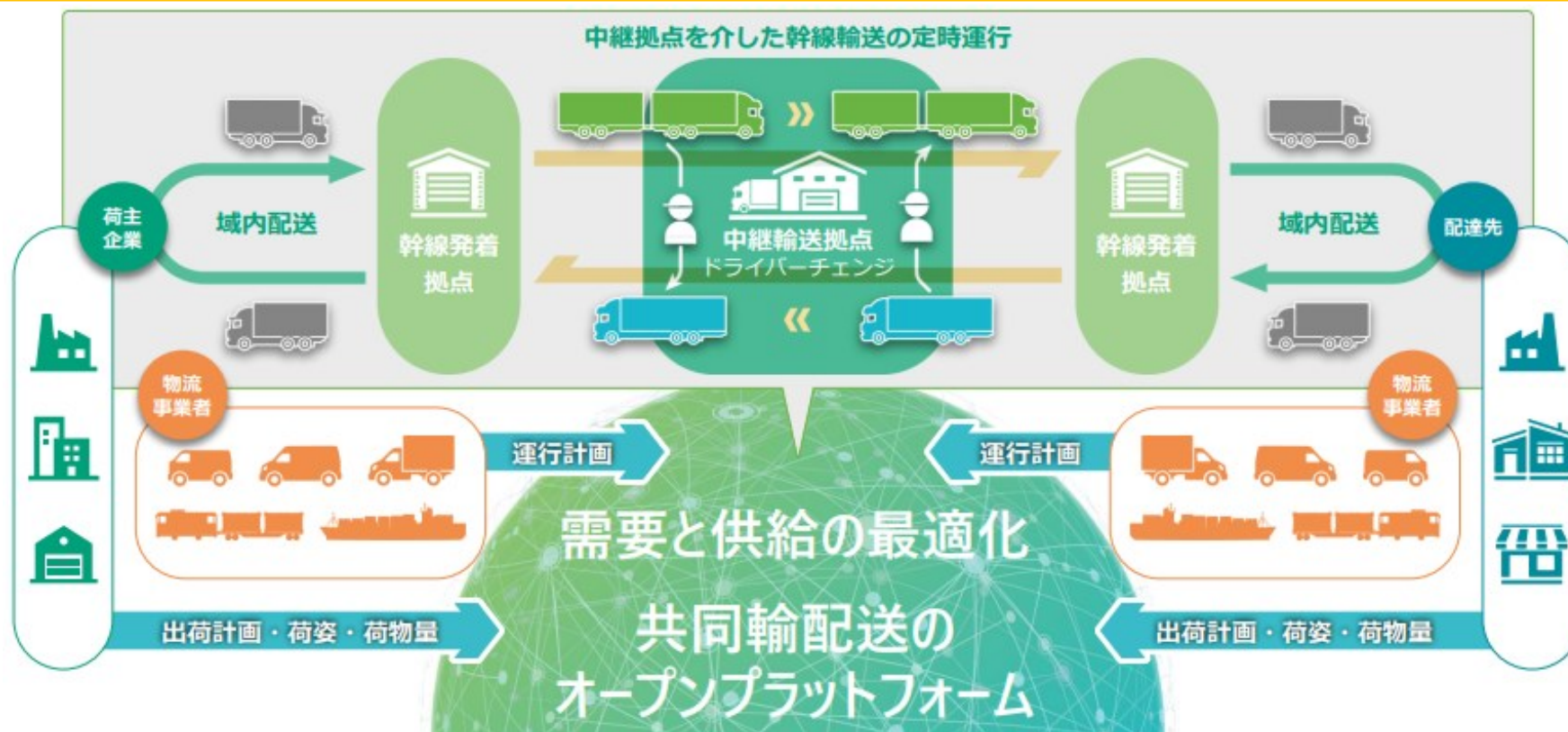
環境負荷の少ないサービスを提供するための環境投資を継続



3. 具体的な取り組み事例（共同輸配送のオープンプラットフォーム）

標準パレットを活用した混載・中継輸配送で多様な荷主企業・物流事業者をつなぎ、安定した輸送力の確保と環境に配慮した持続可能なサプライチェーンの構築を目指します。

- （１）共同輸配送のオープンプラットフォームの提供
- （２）高積載で安定した輸配送サービスの提供
- （３）環境負荷の低減



2025年8月時点、宮城～熊本間で22線便の共同運行を実施。今後も顧客ニーズに合わせて拡大予定。

4. 再配達削減に向けた取り組み

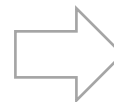
荷物の受取り利便性を高めるため、対面配達に限らず様々な受け取り方法を提供
不在率を低下させることで、再配達が減少しSD生産性の向上に寄与



●受け取る日時を指定する



●受け取る場所を指定する



クロネコメンバーズ会員に
対する置き配を開始
(2024年6月10日から)

再配達率実績

ヤマト運輸：7.6%（2025年4月～6月実績）※前年比で1.1ポイント低下
宅配便全体：約8.4%（2025年4月実績）※国土交通省発表資料



ご清聴ありがとうございました